

東陽病院 新任医師の紹介



よしだ
吉田

ゆきお
行男医師（外科）

（千葉大学大学院から）



よねみつ
米満

ゆたか
裕医師（内科）

（栃木県塩谷総合病院から）

消防・防災の充実に向けて

役場職員消防隊の消防ポンプ自動車は、消防団本部分団が使用していたものを譲り受けたもので、初年度登録（昭和54年）から25年が経過し老朽化やディーゼル車規制に伴い今回新しく小型ポンプ付積載車（水槽付・千ℓ）に更新しました。

また、財団法人消防協会より平成15年度防火防災訓練災害補償等共済制度自治体消防55周年還元事業により、町へ防災広報車が交付されました。両車両とも3月19日、横芝町役場へ納車されました。



文芸

俳句

「じゅげむ じゅげむ言ってもみたし日は永し
此の路は駆け込み寺へ竹の秋 山口 一秋

風あれば星空揺れる竹の秋
鳥や虫日永の今を生き生きと 長谷川理正

永き日の夕餉の仕度整わず
大木の根本ひっそり竹の秋 今関満喜子

つばめの巣四年続けて軒の下
日差し伸び暗き心も明るうす 小林 順子

耕運機音とどろきて日永かな
また一人訃報届くや竹落葉 福田 幸子

出稼ぎの隣は空家竹の秋
永き日や猫ゆつたりと扉渡る 藤代 ゆう

句座解散老のたのしみ桜と散る
桜らんまん人の心も浮き立ちて 若梅あやめ

名刹の坂道長く竹の秋
春光や屋根に石置く漁師町 選者 玉虫 栗扇

短歌

今は亡き茶道の友に案内され
坂田城址の梅を知りたり 秋葉 悦子

咲き終へて地に敷く梅の花びらの
はつか光りて踏むをためらふ 西山満里子

梅まつりに買ひし梅千夫のとる
朝餉の皿にひとつ添へたり 押尾 輝子

公園の広場に犬らの仮装ショー
キティーちゃんの後にはピエロがつづく 真家ふじ子

逆さし妻を義父母住む世にと送りたり
再び出会ふその日くるまで 永藤 滋

連れだちて吾が前をゆく少年の
未来を担ふ伸びやかな足 佐瀬 初音

ブラウスをまたも買ひたり行商の
お似合ひですの言葉に引かれ 吉岡 信子

ガラス越えさしくる冬陽背に浴び
亡母の絵羽織解きてあたり 田崎 尚美

警官も議員も裏金作りみつ
いかになりゆく日本の国は 池田 春江

増えてゆく皺に八十路の年重ね
老いの未来の淡くなりゆく 鈴木 やす

未知の地へ赴く人もあますらむ
頭上をいまし飛行機のゆく 八角 三枝

街の灯を映し流るる小野川に
枝垂れ柳が影を落せり 萩原 信一

その昔井田氏の城の跡どころ
梅林となり花咲き盛る 選者 斎藤つね子

